

以下の諸点を本委員会の議論の出発点とすることを提案します。

白石 隆

本委員会のミッションは「世界と伍する研究大学」とはそもそもどのような大学か、いかなる要件を供えておくべきかを提言することにあると考えますが、その際、議論の錯綜を避けるため、大学改革の基本的な考え方（原則）と大学の制度改革については別の論点とし、まず大学改革の基本的考え方について議論し、およその合意を得た上で、制度改革の議論に入ることを提案します。

また、大学改革の基本的考え方については、以下の諸点を「原則」とすることを提案します。

- (1) 強いところをもっと強くする。国として戦略的に強くしたいところを強くする。ただし、強いところ、強くしたいところで想定する「分野」はできる限り柔軟に、しかし、具体的に考える。
- (2) inbreeding を許さない（大学院博士課程に際しての学生選抜、ポスドク、助教、准教授、教授の任用まで）
- (3) 資源配分は（1）に遵う。これに基づく競争力のある高度専門人材の採用・育成においても戦略的人事を推進とする。

なお、この基本的な考え方について合意が成立しても、これを制度改革に「翻訳」する際にはいくつかの選択肢があり、これは将来の議論としたいと考えます。ただし、基本的考え方の（1）を踏まえれば、既存の大学制度を前提として、ある（あるいはいくつかの）大学をそのまま「参画大学」と認定し、その大学全体に資金を配分することは認められないと考えます。